

小型車・大型車の診断にこの1台! 次世代型スキャンツール

マルチサポートツール

MST2000

21メーカー標準対応

国産車
8メーカー

欧州車
9メーカー

国産トラック
4メーカー

世界初!! しゃべるスキャンツール
音声ガイダンス機能

世界初!! 5年間アップデート
本体保証3年間付

大画面!! 4.3インチ
カラー液晶の大画面



幅広いデータモニタに対応
HV/エンジン/ABS/エアコン など
※ メーカーや車種により対応が異なります。

アクティブテスト対応
エンジン/ABS/ボデー系 など
※ メーカーや車種により対応が異なります。

タッチ式パネル・スクロールバーで快適操作

エコスキャンシステムとの連動可能(2013年春リリース予定)

MST2000 標準搭載

- 故障コードの読取・消去
- J-OBDIIの対応
- フリーズフレームデータ読取
- 作業サポート
- データモニタ
- アクティブテスト

▲ 安全に関するご注意 使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。(型式・仕様は予告なく変更することがあります。)

BANZAI 株式会社 **バンザイ**

<http://www.banzai.co.jp>

本社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: teigy@banzai.co.jp

関東支店
埼玉県北本市朝日4-553
TEL 048-590-3700
E-mail: kanto_br@banzai.co.jp

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171
E-mail: sapporo_br@banzai.co.jp

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221
E-mail: sendai_br@banzai.co.jp

名古屋支店
名古屋市中区大須1-29-36
TEL 052-201-7551
E-mail: nagoya_br@banzai.co.jp

大阪支店
大阪府東淀川区東3-3-11
TEL 06-6744-1041
E-mail: osaka_br@banzai.co.jp

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201
E-mail: Hiroshima_br@banzai.co.jp

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261
E-mail: fukuoka_br@banzai.co.jp

海外販売部
東京都港区芝2-31-16
TEL 03-3769-6894

- 営業所 旭川・青森・秋田・盛岡・郡山
山形・新潟・長野・前橋・宇都宮
水戸・埼玉・千葉・横浜・静岡・多摩
北陸・三重・京都・神戸・高松
- 出張所 帯広・函館・富山・松山
岡山・山口・長崎・大分・熊本
- 販売会社 バンザイ南九州販売(株)
バンザイ沖縄販売(株)



ISO9001・ISO14001
自動車整備機器検査用機器の設計開発販売及びサービス
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に
お客様とのきずなを大切に、
お客様満足度の向上を図ってまいります。

BANZAI NEWS

2013
Winter
285

特集
BANZAI NEWS

モノ離れ世代に、車の楽しさを発信 アフターマーケットに新しい市場を創造





かやぶきの里 ————— 京都府南丹市

京都府ももう若狭に近い、丹波の山ふところに抱かれた南丹市美山の「かやぶきの里」。ここには今はもう見ることも少ないかやぶき屋根の家が数多く残されています。かつては全国の山里に見られた家々は、何か郷愁を誘うようなたたずまいで、ひっそりと春を待っています。

★歳時記

- 1月 1日 元旦
- 7日 七草
- 14日 成人の日
- 2月 3日 節分
- 4日 立春
- 11日 建国記念の日
- 3月 3日 ひな祭り
- 17日 彼岸入り
- 20日 春分の日



●目次

- ★新年のごあいさつ……………①
- ★特集 モノ離れ世代に、車の楽しさを発信……………②
アフターマーケットに新しい市場を創造
- ★モデルショップ訪問【大阪スバル株式会社 高槻店】……………⑥
「メカと走り」にこだわるユーザーに最新設備と「見せるサービス」で“安心と楽しさ”を提供
- ★トピックス<海外情報・中国>……………⑧
拡大する中国自動車市場に向けて
上海、天津にメルセデス・ベンツVPCが完成
- ★ショールーム……………⑩
- ★EPOCH 整備機器を安全に使用しましょう……………⑭
- ★ロータリー……………⑯
- ★BANZAIガイド……………⑰

あけましておめでとうございます

新たな年の初めにあたり、皆様に心よりお慶びを申し上げます。わが国、また国際間においてはさまざまな変化の大きい時代を迎えています。ここ数年来の事象を顧みますと、世界の出来事が間を置かずに国内に影響を及ぼし、さらには私たちの生活に影響を与えていく、まさに現代社会はIT化が目指してきた方向性そのものを具現化しつつあるといえます。

こうした情報のリアルタイム化は私たちの身近なところにもあてはまります。タイムリーなレスポンスがビジネスに不可欠なと同様、カーオーナーとサービス業の皆様、そしてサービス業の皆様と私どもバンザイ、いずれの関係においてもクイックレスポンスが不可欠の要因となっています。

自動車サービスの分野におきましてはかねてより、サービスの最大の目的である「安全」の確保に加えて、「環境」対応のためのHV、EVなどエコカーの増大、またそれに対応する「技術」力の向上が課題となっています。本年、バンザイでは私どものもっとも大きな拠り所であり「サービスのバンザイ」の原点を再構築し、さらに前進させていくことをテーマに、新たな一年へとまい進してまいります。

本年開催が予定されておりますオートサービスショーにおきましては「未来を創る 環境と技術への挑戦～高品質・高効率の実現～」をテーマとして、さまざまなプレゼンテーションを行ってまいります。また年間を通じてのアクションにおきましても、これらの課題に対応する取り組みを中心に展開してまいります。

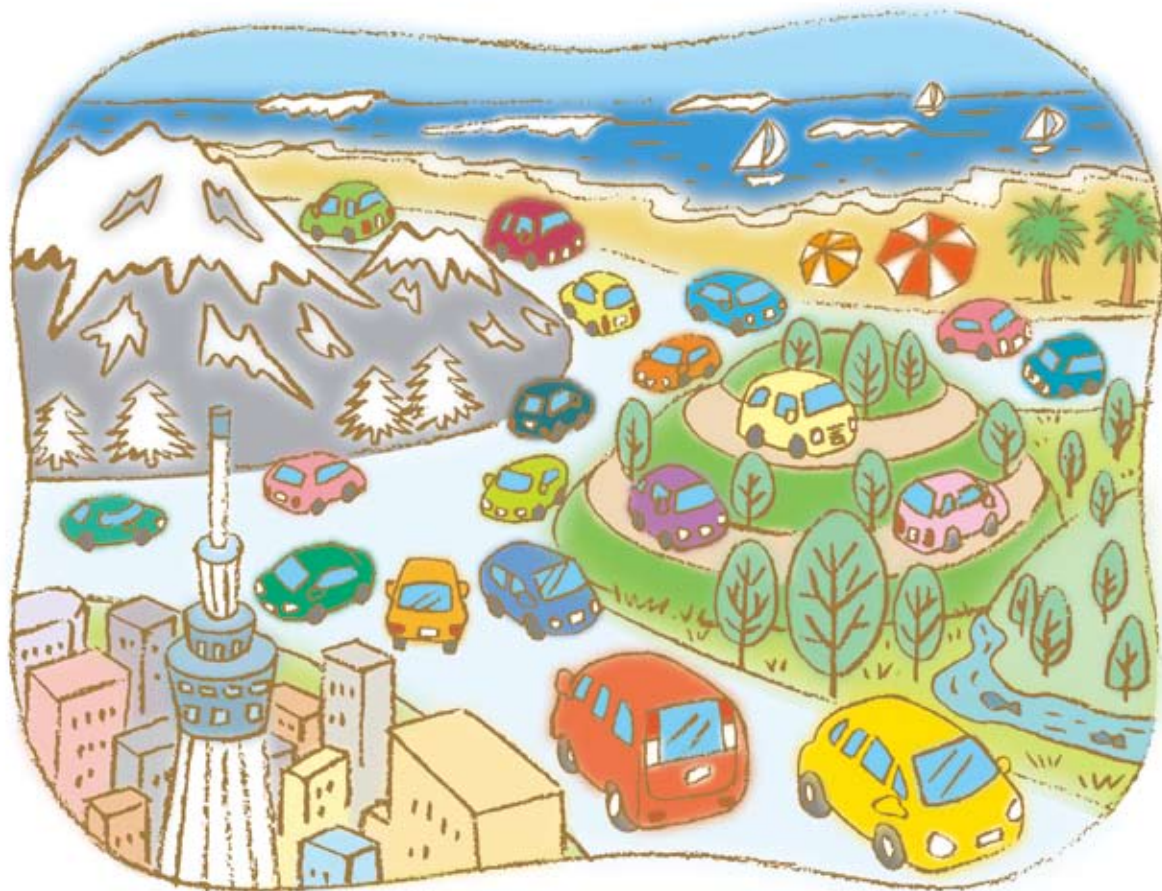
その第一は「安全なサービス」です。カーオーナーの皆様へ安全を提供するサービスショップにおいて、安全なサービスを実施することは最大のテーマです。私どもがお納めした商品を、長く安全に使用していただく、そのためにバンザイはアフターフォローにも全力を挙げて取組んでまいります。また、サービスのもう一つは「サービスの高品質・高効率化」です。働きやすい環境で、安全にサービスを行うこと、それによって最大効率を実現でき、さらには高品質なサービスの提供が可能となります。バンザイは皆様の要望に迅速に対応するレスポンスを追求することにより、私どもの原点であります「サービスのバンザイ」をさらに前進させ、皆様のビジネスを微力ながらお手伝いしてまいります。本年もなにとぞいっそうのご愛顧、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



株式会社 バンザイ
代表取締役社長 藤下 努

モノ離れ世代に、車の楽しさを発信 アフターマーケットに新しい市場を創造



年も新たに2013年、平成も四分の一世紀となる新春を迎えました。あいか
わらず社会、経済にかかわるさまざまな問題は山積ですが、心機一転、希望
と期待を胸に新しい年を迎えたいものです。一年のスタートにあたり、ビジ
ネスの潮流を占う、いくつかのキーワードについて世の中の動きをチェック
してみましょう。

エネルギー、エコロジーが市場活性の鍵

今年外国為替市場が変動制に移行した1973年から40年、また同じく第一次オイルショックからも40年にあたります。熟年世代の皆様は全国のスーパーマーケットからトイレットペーパーが消えた、あのパニックを覚えておいででしょう。豊かさを追求して成長してきた日本経済が世界情勢と密接にリンクしているという事実が、庶民にも実感として受け止められた象徴的な出来事でした。以来、経済、エネルギー問題は日本経済においてさらに重要なテーマとなっています。昨年は4月から9月にかけて経産省による2,722億円のエコカー補助金が投入されました。9月までの半年間の効果は単純に1台あたり10万円としても約270万台以上の販売促進につながったとみられています。カーアフタービジネスにおいても、エコロジー、省資源など環境負荷の低減につながるビジネスは引き続き大きなテーマになるでしょう。こうした要因がさらに本格的な車需要の喚起へとつながることが期待されます。

「モノ離れ」世代に受けるリース、レンタル

ここ数年、若い人の中で車離れが進んでいるといわれています。その一因として、スマートフォンなどの情報機器や通信費などにはお金をかける一方で、車にかかるお金がない、また小さな頃から当たり前の存在であった車に対してあまり魅力を感じなくなったなど、その理由はさまざまに言われています。

経済成長の時代に車を手に入れたシニア世代がモノにこだわりを持って自分の満足感を満たしてきたのに対して、豊富なモノに囲まれて育ってきた現代の若者たちは、モノを「所有」することにあまりこだわらず、「モノ

離れ」で生活をエンジョイすることにたけているのでしょうか。

「所有せずに使用する」、「使用するメリットだけ費用を負担する」などのメリットを商品化したのがカーレンタルシステムやカーリースシステムです。

レンタカー市場は5,000億円に迫る規模に拡大しているといわれ、ビジネスやレジャーなどさまざまな目的に利用されています。最近では行楽地や高速道路のパーキングエリアなどでも「わ」ナンバーの乗用車を見ることが増えてきたような気がします。レンタカーの営業所でも休日前の夕方などは若者たちで盛況のようです。

すでに車に限らず「借りる」ということに抵抗がなくなってきたことと、やっぱり車は便利だという事実が、便利な車利用ということで、とくに車保有に敷居の高い都会では、レンタカーのチョイスを日常的なものにしているのでしょうか。また最近ではパーキングの一定のスペースを利用したカーシェアリングもよく見かけるようになってきました。これはレンタカーよりもさらに日常的な、時間単位の気軽な車利用を可能にしたシステムですね。



「楽しさ」を発信、市場の環境づくりへ

ところが、「車を借りる」というカーライフの一形態が普及してくるにつれて、意外な効果が見えてきたとのこと。それはレンタカーやカーシェアリングで車を使っているうちに、自分の車が欲しくなってきたという人が増えているのだそうです。子供の頃から家には車があって、自分ではとくに欲しいとか思わなかったし、必要性を感じることもなかったけれど、やっぱり車は便利で楽しい、ケタイでコミュニケーションするのもいいけれど、一緒にドライブに出掛ければ友達ともっと密接なコミュニケーションが作れる、そういう意識の芽生えが背景としてあるのかもしれない。カップルで、仲間同士で、どこかへ行くのにもやっぱり車が便利だし、なにより同じ空間を独占し、共有する楽しさ、そして自由さ、それは他の交通機関にはないものですね。

こうした流れをリードするかのようにカーメーカーでも、車の楽しさ、個性的なカーライフをエンジョイできる車づくりが推進されるようになってきました。昨今話題のスポーツカーもこうした若者層からシニア層

まで、幅広く車の楽しさをアピールすることが狙いです。それとともにオーナーズクラブや走行会の開催、専用パーツの開発など、スポーツカーを楽しむ環境づくりに、メーカー自らが積極的に乗り出しています。

デジタル対アナログ、シェア競争から市場拡大へ

自動車業界で車離れが社会現象のように取り上げられているのに対して、これも社会の潮流のように言われているのが「活字離れ、読書離れ」です。実際にどれほど本を読まなくなったのかというデータは明確ではないようですが、出版界では1996～97年頃を売上高のピークとして、それ以降長期低落が続いていることは確かなようです。

これも原因として挙げられているのは、インターネットやスマートフォンなど多様化した現在のコミュニケーションスタイルが一つにはあるようです。情報端末として、コミュニケーションの手段としてこれらIT機器の利用時間が増えたことも、読書時間の減少の一因としてあるようです。

その一方で、本そのものの電子化という流れも進んでいます。昨年は電子ブックの世界でも米国のキンドルが日本市場に参入し、新たな競争と市場開拓の始まる年となりました。電子ブックと印刷媒体との市場シェア競争となるのか、それとも市場全体の拡大につながるのか、ここでもデジタル対アナログの市場競争が始まっています。

「バーチャル」に対抗する「リアル」の市場戦略

このような「バーチャル書店」の攻勢に対して守りを固める「リアル書店」の戦略はどうでしょうか。売り場面積の拡大、品揃えが強みの大規模店舗、そして書籍のネット販売も

すでに市場で一定のシェアを獲得しているようです。

それに対して地域密着の小規模店舗、街の本屋さんには本の読み手との近さ、接点を持っていることがいちばんの強みです。棚にある本を眺めて、その中から一冊を手にとって、最初の何行か、あるいは何ページかに目を通して購入するかしないかを決定できる、お客様と店とが「リアル」な対面販売の売り場を持つことが書店の強みです。その売り場にしても、かつてのようにお客の立ち読みを目を光らせている店員はすでにいません。大規模な書店では立ち読みどころか「座り読み」できるテーブルと椅子を用意したコーナーまで設備したお店もあります。

立ち読みどころか座り読みができるということは、単純に考えれば売上の減少につながるのでは？と置いてしまいますね。ところがこうした書店が売上を伸ばしているのは、なぜでしょうか。

本の売上を伸ばすという戦略目標に立って、まず「本を読める」環境づくりに取り組み、それによって読者層が広がり、来店促進にもつながるといって、長期的な効果を期待してのことでしょう。もっと本の面白さ、本の魅力を分かって欲しいというお店のメッセージが明確に発信されているわけですね。

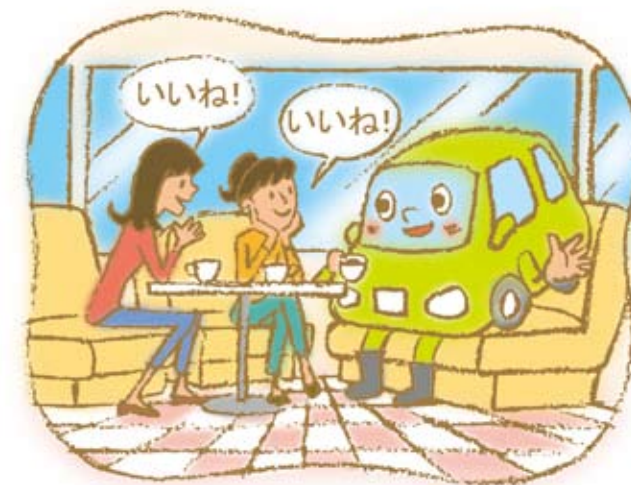
もうひとつ、最近の書店で見られる販促のための工夫が、店員による本の推薦コメント、いわゆる「書店POP」です。店員が実際に本を読んでみた感想を、売り場にポップにして掲示したものです。新聞などの書評欄のコメントにはない、素人の目線での本の感想がハガキほどのサイズに凝縮されています。いわばプロの評論家によるコメントとは違う、読者レベルでのコメントだから、推薦の

言葉にもいっそう真実味があるのでしょうか。いまではヒットセラーの隠れた要因になっているそうです。

商品売る前に、市場を創る新しい戦略へ

サービス工場でもこうした工夫は真似できるのではないのでしょうか。オプションサービス、例えばエンジンクリーニング、アライメントチェック、空素充填など、サービスを実施する立場から、サービスを受ける側になって体験レポートを発信してみてもいいかがでしょうか。自社の商品ならずとも、サービスのプロの立場からのカー用品テストレポートなども、お客様にとっては興味深いことでしょう。

サービス工場と書店というまったく異なる市場を例に挙げましたが、共通するのは、顧客拡大の前にまず市場作り、ユーザーに「楽しさを知ってもらおう」その環境づくりに力を入れているということではないのでしょうか。サービスの分野でも、もっと楽しく快適なカーライフへのメッセージを発信していく、今年はその新しい取り組みへの一年にしたいものですね。



「メカと走り」にこだわるユーザーに 最新設備と「見えるサービス」で“安心と楽しさ”を提供

大阪府と和歌山県に新車販売拠点として28店舗を展開する大阪スバル(株)では、このたび大阪府の最北部に位置する高槻店の全面改築を実施、「メカと走り」にこだわるスバルユーザーにアピールできる最新の設備と、よりスケールアップした規模をあわせ持つ魅力ある店舗としてリニューアルオープンしました。



六連星のコーポレートシンボルを掲げた店舗外観



大きなキャノピーで雨の日も濡れずに来店できる



年間約2万kWhの発電が可能な太陽光発電パネルで環境貢献

大阪スバル初の環境対応型店舗を実現

大阪の中心部と京都のほぼ中間に位置する中核市、高槻市。市街中心部を横切る国道171号線が大きく直角に曲がった一面に、装いも新たにオープンした高槻店の新店舗があります。ガラス張りのショールームからエントランスに大きく張り出したキャノピーまで、国道に面して幅広い外観がひととき目を引いています。敷地面積は約1000坪。今回のリニューアルにあたり、旧店舗に隣接した敷地を取得され、ほぼ二倍近い規模にスケールアップされています。

今回の店舗一新のコンセプトの一つはお客様への来店のしやすさを追求した「来店型の店舗」としたこと、もう一つはこれも来店型店舗に欠かせない「見えるサービス」を実現していることです。またキャノピーの上面には太陽光発電パネルを設備し、自家発電を行う大阪スバル初の環境対応型店舗としています。



取締役
サービス本部長
一柳 典利氏



高槻店 店長
野澤 孝徳氏



高槻店サービス課
総括係長
原 隆雄氏



タイル貼りのレセプションストール、奥に洗車場



フラットワークステージXには
アッパーライトを設置



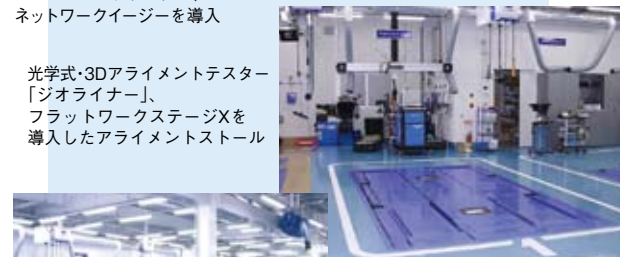
エミネットβIIと自動下部洗浄機を
設備した洗車場

最新機器で快適な「走り」をサポート

サービス工場はサービスストール6ストール、検査ラインおよびレセプションピット、洗車場からなっています。重整備、車検、一般整備、クイックサービスの各ストールには計5基のクリオスIIリフトを設備しているほか、アライメント専用ストールおよびレセプションピットにはフラットワークステージXリフトを設備しています。またフルタイム4WD車の比率が8~9割を占めるとあって、検査ラインにはスーパーマルチテスターを導入、自動ホイールベース設定機能によりスピーディな検査を可能にしています。さらに足回りサービスには欠かせないアライメントテスターとして、高精度な測定が行える光学式・3D方式の「ジオライナー」を導入されています。



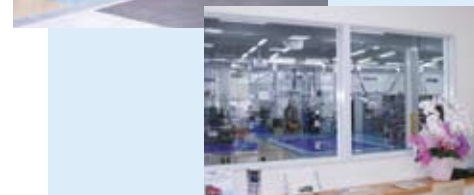
検査ラインにはフルタイム4WD対応の
スーパーマルチテスター、
ネットワークワイジーを導入



光学式・3Dアライメントテスター
「ジオライナー」、
フラットワークステージXを
導入したアライメントストール



整備ストールには
エアコン、排気ガス
リールを完備



「見えるサービス」で
安心感をアピール



明るく快適なショールーム
には新型フォレスター、
レガシィなど人気車種を展示



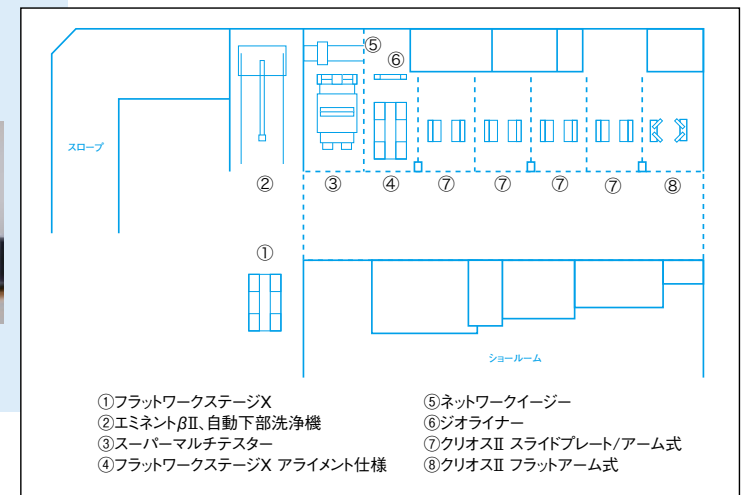
ショールーム入口のサービスフロント



ショールーム奥に
完全に隔離された喫煙ルーム

ユーザーの「こだわり」に応えるサービスを提供

「お客様がスバルを選んでいただいている理由は、たんなる移手段だけではありません」と話される取締役サービス本部長の一柳典利氏。水平対向エンジン、フルタイム4WD、また最近では「アイサイト」など特徴的なメカニズムを持つスバル車だけに、オーナーは程度の差こそあれ「メカにこだわり、走りにこだわる」お客様が多いそうです。それだけにサービスにも関心の高いお客様が多く、「見えるサービス」としたのもこうしたニーズに対応するためです。またとくに足回り、アライメントサービスのニーズも高いそうです。「従来は他店舗で実施していたアライメントサービスも提供でき、お客様にも好評です。旧店舗は相当年数も経っていたので新店舗の完成でたいへん喜ばれています。安心して任せられるという声も頂いています」と店長、野澤孝徳氏。サービスストールも広く、明るく快適な環境で余裕を持ってサービスにあたれると、メカニックにも好評とのこと。「これからの店舗はイメージ作りが大切です」と営業第二部部长、廣谷一美氏。高度な設備、環境対応など「スバルのイメージをアピールできる店舗にしたいですね」と新店舗の効果に期待されています。





拡大する中国自動車市場に向けて 上海、天津にメル

セデス・ベンツ新・VPCが完成

海外情報 メルセデス・ベンツ新・VPC 上海・天津

■中国



上海 VPC の外観、上海エリアのニーズに対応

2009年には販売台数で米国を、生産台数で日本を追い抜き、世界最大の規模を誇るまでに成長している中国の自動車産業。輸入車も例外ではなく2011年には初めて輸入台数が100万台を突破しました。なかでもメルセデス・ベンツの人気は非常に高く、富裕層のステータスシンボルとなっています。



隣接する立体駐車場、2棟で6,000台を収容



サービスを待つ、陸揚げされたメルセデス・ベンツ

■富裕層に人気のメルセデス・ベンツの新車整備を実施

中国においては、2012年夏にメルセデス・ベンツチャイナ(MBCL)主導の下、中国国内向けメルセデス・ベンツ車の輸入車を点検整備する新・VPC (Vehicle Preparation Center: 新車整備センター)が天津市と上海市に立て続けに開設されました。VPCは国外で製造された輸入車の新車整備を集中的に実施する施設です。港から陸揚げされた輸入自動車は、保税区内でその国の基準に適合するかなどの検査を受け、さらに故障箇所がないか、ボディにダメージはないかなどのチェックを行った後、自動車販売店へ配送されます。



連続洗車機が2レーン、全長は約30m



洗車を終えて新車整備のレーンへ

■急増する需要に対応する、大規模な新・VPCが完成

天津VPCは天津港の一部約300万坪を埋め立てた、新たな港に位置しています。この地域には、政府のプロジェクトによる莫大な投資が行われ、港の施設・倉庫・住宅などのほか、マリナーやビーチなどのリゾート施設が計画されています。倉庫群の18棟をMBCLが使用し、そのうち3棟がVPCとして使用されています。

上海VPCは上海港の一角に位置し、上海地区の自動車の輸出入を集中して行っているエリアに立地しています。また上海VPCの隣には1棟3,000台が収容可能な階層式駐車場が2棟設けられ、VPCでの点検・整備を終えて出荷を待つ車両は屋根の下で保管されるようになっています。

いずれのVPCも点検・整備にスラットコンベアによる自動化ラインを導入、また洗車設備には全長30mもの連続洗車機を2レーン設備するなど、最新設備が導入され、今後の需要拡大に対応する大規模な施設となっています。



上海と同様2レーンの連続洗車機を設備 (天津)



コンベアによる流れ作業で高い生産性を実現 (天津)



ハイプレッシャー洗浄できれいに傷付けることなく洗車が可能



スラットコンベア上で流れ作業で点検整備を実施



広大なサービスホールで新車整備が行われる

■最新設備で高度な品質向上を担う

VPCでの作業の流れは、まず自動洗浄装置によるボディ洗車を行い、次にコンベアライン上で内外装の点検・機能点検・エンジン点検などを行った後、必要に応じて修理・調整・補修が行われます。

日本市場のおよそ4倍程度を見込む中国輸入車市場をにらみ、天津・上海に続き広州への新・VPCの建設も計画しているメルセデス・ベンツチャイナ。VPCでの業務を通じて、品質向上をよりいっそう進め、中国国内市場での確固たる地位を構築し、メルセデス・ベンツブランドを躍進させていくことでしょう。

SHOW ROOM

NEW ミニリーダー(型式WE3031JP-BC2)

故障コードの読取・消去に特化した故障診断機。

故障コード読取まで 簡単3ステップ!

- 1 OBD II コネクタに接続
- 2 キーON
- 3 約30秒で自動診断



故障コード消去まで 簡単3ステップ!

- 1 修理完了後に診断
- 2 消去ボタン2回プッシュ
- 3 消去完了



対応機能

Pコード(エンジン、ミッションの故障コード)
Uコード(ユニット間の通信に異常を検知した
場合の故障コード)

※Bコード(エアバック等ボディ関係のユニット故障コード)
※Cコード(ABS等シャシ関係のユニット故障コード)
(※)付属のバージョンアップキーコードにてバージョンアップすることにより
対応可能な機能
(注)一部車種で対応できない場合があります。

KHW-1300B ナイスホット(温水洗浄機)

サービスの高品質化をサポート、環境時代の温水洗浄機。

- 吐出量:最大1,150L/h
- 吐出圧:約9.5MPa



型 式	KHW-1300B
吐 出 温 度	常温~最高80℃
吐出量(無負荷時) L/h	約1,150
吐 出 圧 力 MPa	約9.5
ポ ン プ	3連セラミックプランジャーポンプ
使用燃料・燃料タンク	白灯油・18L
モ ー タ ー V.kW	AC200、三相、3.7
定格消費電力 kW	4.4
給 水 量 L/h	1,300以上
給 水 圧 MPa	約0.2~0.75
燃 料 消 費 量 L/h	約5.0
ボ イ ラ ー	密閉型蓄圧式ステンレスボイラー
ボイラー貯湯量 L	約13L
本 体 寸 法 mm	(幅) 1,010×(奥行) 730×(高) 1,110
本 体 重 量 kg	約150
標 準 付 属 品	ストップガン、給水ホース(5/8B×4m)、 高圧ホース(3/8B×15m)、クイックカバー、 オートヒーター、ロータリージョイント

SHOW ROOM

EHW-1000 エコホットウォッシャー(温水洗浄機)

コンパクトサイズ&高効率洗浄のエコホット。

- 吐出量:約900L/h
- 吐出圧:約9.1MPa



型 式	EHW-1000		
吐 出 温 度	常温~80℃	洗 浄 ガ ン	ストップガン(トリガーロック付)
吐出量(無負荷時)	Max 900L/h	安 全 装 置	空焚防止装置、炎監視装置 過負荷防止装置、オートヒーターセンサー 安全弁、減圧弁
吐 出 圧 力	9.1MPa		
ポ ン プ	3連セラミックプランジャーポンプ(モーター直結)	本 体 寸 法	(幅)712×(奥行)583×(高)1,040mm
モ ー タ ー	3相200V 4P 2.2kW	本 体 重 量	約95kg
ボ イ ラ ー	蓄圧型多煙管ステンレスボイラー	標 準 付 属 品	給水ホース φ15X3m
ボイラー貯湯量	12.6L	オ プ シ ョ ン	給湯蛇口 クイックカバー(内部高圧ホース付) スピンジョイント 圧力調整弁付ストップガン 煙突保護カバー
使用燃料	白灯油(JIS 1号)		自動ホース巻取リール(10m、15m用) 手動ホース巻取リール 漏電遮断器
燃 料 消 費 量	約3.2~4.8L/h		ポンプ自動ON/OFF装置
燃 料 タ ン ク	20L		
洗 浄 ホ ー ス	3/8×10m(軽量タイプ)		
必 要 電 源	3相 200V 30A以上		
給 水 源	上水道 水量16L/min以上 水圧0.08~0.5MPa		
凍結防止装置	シーズヒーター 200W(オートヒーター式)		

卓上型充電式LEDライト



- 1回の充電で長時間連続使用ができます。
- コードレスなので屋外での使用が可能です。
- シガーライターでも充電できます。

型 式	ワット数	入力電圧	使用時間	アダプター
KE1005LI-8H	5W	AC100V	8時間	12/24V シガーライター用 プラグ式充電器
KE1010LI-8H	10W			
KE1020LI-3H	20W		3時間	

ホールディング バーライト



- 大きく開き、自在に動くフックがボンネットにガッチリぶら下がり、広範囲に並ぶ強力な光が隅々まで鮮明に照らします。
- フック部は350度回転機構なので光の方向を自由に変更できます。
- ハイパワーLEDが6灯のドデカ発光です。

型 式	VBL-01B	VBL-01C
照 度	400~500ルクス	600~700ルクス
充 電 / 電 源	バッテリー式 (充電コード1m)	100V電源式 (電源コード5m)
本 体 寸 法	1,244×127×171 mm	

MST2000 マルチサポートツール(次世代型スキャンツール)

初のハンドヘルド・次世代スキャンツール 「マルチサポートツール」MST2000 登場!



国産・輸入乗用車、国産トラックの計21メーカーに標準対応!

4.3インチ・カラー液晶の大画面

ハンディタイプで多機能な スキャンツール

「マルチサポートツールMST2000」は従来のポケットサイズ診断機の約2倍の4.3インチモニターを内蔵したハンドヘルドタイプのスキャンツールです。サービスの現場からの要望に応え、診断からユーザーサポートまで幅広く活用できるスキャンツールとしてバンザイが独自に開発、すでに多方面からご好評をいただいています。本体は180×115(mm)というハンディタイプながら、J-OBDDⅡに対応し、故障コードの読取・消去などの基本機能に加えて、データモニタ機能、フリーズフレームデータ読取機能、アクティブテスト機能などの拡張機能を備えた、まさに次世代型のスキャンツールです。

多彩な拡張機能、ソフトアップデートを 5年間サポート

またソフトアップデートと保証の充実が図られていることもMST2000の大きな特徴です。ソフトウェアについては業界初の「5年間アップデート」、また本体については「3年間のメーカー保証」を実施、自動車メーカーのニューモデルの診断に必要な最新情報をインターネットからダウンロードできます。さらにスキャンツールとPCを連動させて診断が行える、将来的な対応を考慮して2つのUSB端子を備えています。

また点検、車検などの入庫時における診断データを、ユーザーへのトータルサポートや故障時の診断に役立て、また有料診断ビジネスの普及を促進するバンザイの「エコスキャンシステム」への連動も予定されています。

作業サポート、ユーザー対応に 便利な初の音声ガイダンス搭載

MST2000がスキャンツールとして今回始めて搭載した「音声ガイダンス機能」は、車種ごとにテスターの使用方法を音声で説明する「作業サポート機能」に加え、ユーザーに対する分かりやすい説明が行える「診断説明機能」の二つの機能が設定されています。

とくに「愛車の健康診断モード」では、モニターと音声ガイドの両方で、整備士がお客様と対面しながら診断結果を分かりやすく説明できるため、将来的な有料診断ビジネスへの対応にも効果的です。

また高い機動性を持つ実戦的なハンドヘルド診断機として使い勝手の良さを考慮し、コネクタケーブルの先端にLEDライトを装備、ダッシュボード下などの暗い場所でも簡単にコネクタが接続できるよう配慮されています。

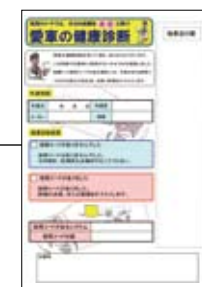
3ステップで「愛車の健康診断」、故障診断の有料化へ!



A3サイズ 店舗内チラシ

A4サイズ 店舗内チラシ

故障コードがあります。早急に点検、または修理をオススメします。



A4サイズ 故障診断結果レポート

国産乗用車・トラック、欧州車、21メーカーに標準対応! 増加するHV、EVにも!

国産乗用車(8メーカー)

トヨタ
マツダ
日産
ダイハツ
ホンダ
スズキ
三菱
スバル

欧州車(9メーカー)

メルセデスベンツ
アルファロメオ
フォルクスワーゲン
フィアット
BMW
BMW・ミニ
アウディ
マセラッティ
ベントレー

国産トラック(4メーカー)

いすゞ
日野
三菱ふそう
UDトラックス

整備機器を安全に

整備機器も日常的に使用していると、慣れや不用意な危険行為によって、思わぬ事故につながりかねません。整備機器をご使用いただく上で事故につながりやすい取扱上の主な注意点をご紹介します「安全の手引き」から、一部をご紹介します。

タイヤチェンジャーの安全使用

機種によっては該当しない項目もあります。

タワーのチルト操作時は周囲に注意



タワーが体に当たり、重傷を負う危険があります

ビードブレイカーとタイヤの間に手を入れないこと

ターンテーブルの下に手を入れないこと



指が挟まれて重傷を負う危険があります

安全ケージを使うこと



パーストにより、重傷を負う危険があります

ボディフレーム修正機の安全使用

機種によっては該当しない項目もあります。

変形、亀裂の入ったクランプの使用禁止



クランプが切れて飛び、重傷を負う危険があります

変形、亀裂の入ったチェーンの使用禁止



チェーンが切れて飛び、重傷を負う危険があります

クランプはしっかりとセットすること



しっかりと固定しないと、引き作業で車が落下する恐れがあります

修正機のリンク部には手や足を入れない 安全ゴーグルや耳栓などの保護具を着用すること 下降時に修正機の下に足を入れない 作業スペースは整理整頓すること



挟まったり、つまずいたりして、重傷を負う危険があります
目に障害や難聴になる危険があります

使用いたしましょう

PART 4

エアコンプレッサーの安全使用

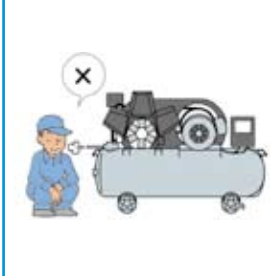
機種によっては該当しない項目もあります。

空気以外の気体を圧縮しない



爆発・火災・破損の原因になります

直接吸引する呼吸器系の機器としては使用しないこと



人体に重大な損害を与える危険があります

回転部に手を触れないこと



突然回り出し重傷を負う危険があります

潤滑油は指定品を使うこと



指定外の潤滑油を使用すると爆発・発火の危険があります

塗装ブースの安全使用

機種によっては該当しない項目もあります。

マスク、メガネ、スーツを着用すること



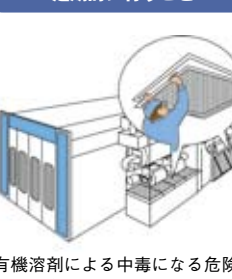
有機溶剤による中毒になる危険があります

可燃性ガス警報装置を設置すること



可燃性ガスの滞留を検知する装置を設置しなければなりません

フィルター交換や清掃を定期的に行うこと



有機溶剤による中毒になる危険があります
塗装ミストがたまり、火災の原因になります

法定点検を実施してください



ブースを安全に使用するために必要な点検です
罰則規定があります

赤外線乾燥スタンドの安全使用

機種によっては該当しない項目もあります。

高温部に注意すること



やけどの危険があります

ゆっくりと移動すること



転倒し、重傷を負う危険があります。
使用中は車輪ストッパーをかけてください

可動部に注意すること



可動部に指を挟み、重傷を負う危険があります

ケーブルに注意すること



足を引っ掛け転倒し、重傷を負う危険があります

感動夢工場 第24回研究会を開催

昨年(2012年)の10月17日から18日の2日間、感動夢工場では香川県高松市で第24回目となる研究会を開催しました。

一日目は(株)フロントオフィスの野崎英直氏を講師に招き「“売る力”こそ儲かる自営業経営の条件」をテーマとした経営セミナーを開催しました。セミナーの中で同講師は、整備業にとって今後は自動車販売がより重要なものとなるため、「車販の告知」「商談活動の実践」「販促活動の実践」という3つの活動と、その前提として「情報」「仕組」「活動」の3つの条件が不可欠であり、これらが機能して「売る力」が強化されると説明されました。

二日目は高松市内の「ラチェットモンキー」の2号店「ルート32号店」を訪問、「らくらく車検工房」の原点ともいえる同社の車検オペレーションを見学しました。完全来店型のサービスショップと、お客様に対する懇切丁寧な説明による立会い車検の進行により高い実績を上げる同店に参加者の大きな関心が寄せられていました。

挨拶を述べる
高間専逸会長



野崎英直氏は「売る力」の重要性を力説



同社独自の半地下見学コーナー



部品の展示など、ユーザーコミュニケーションツールも豊富



検査員の萱原氏によるプレゼンテーション

MSC経営戦略会議

第102回研究会を開催

MSC経営戦略会議では昨年(2012年)の11月13日から14日の2日間にわたり、第102回研究会を東京都港区のバンザイ芝ビル会議室にて開催しました。一日目は講師の(株)エキスパートの伊藤由紀子氏による「女性の視点から集客アップ! お客様から選ばれるお店づくり」と題してセミナーが開催されました。自動車サービスにおける集客アップをテーマに、女性の視点からのスタッフの育成について論旨を展開されました。とくに「接客のプロ」としてのスタッフの要件として「笑顔と身だしなみ」、「言葉づかい」の重要性、とくにお客様に安心感を与える「クッション言葉」が大切と強調されました。

二日目は神奈川県相模原市の(株)住友3Mカスタマーテクニカルセンターを見学、自動車はもとより、幅広い分野に膨大な製品を持つ同社の開発力の原点に触れました。とくに同社の「ポストイット」開発にみる「自主性の尊重」や「失敗の許容」など、豊富な事例をもとにしたプレゼンテーションに参加者は興味深く聞き入っていました。

伊藤由紀子氏による、女性の視点からの講演



住友3Mカスタマーテクニカルセンターの小山剛氏によるプレゼンテーション

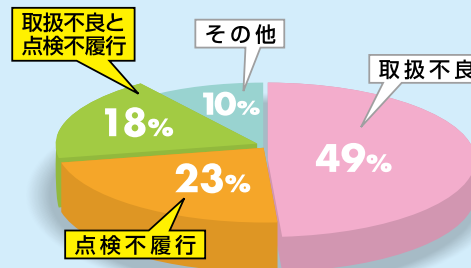
BANZAI GUIDE

リフト事故をなくしましょう!

バンザイでは「リフト事故撲滅運動」を推進中です。

意外に多いリフト事故、ご存知ですか?

平成14年から23年までの10年間でリフト事故は全国で190件発生しています。その推定原因の第一位は「取扱不良」、第二位が「点検不履行」、第三位はその両方の複合要因となっています。



事故の予防には「点検」が大切です

リフトも車と同様に定期点検が必要です。事故を予防するために「始業点検」の実施と「正しい使用方法」を守ること、そして「日常点検」がなにより大切です。

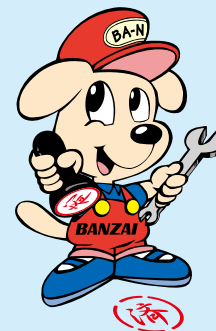
リフトの点検はプロにお任せください

バンザイでは全国で278名のサービスマンが(社)日本自動車機械工具協会「リフト点検資格者」の認定を受け、皆様のリフトの点検にあたっています。リフトの点検については、ぜひこの機会にバンザイのスタッフにご相談ください。

平成14年から平成23年までに
リフト事故が

190件発生しております。

(社団法人 日本自動車機械工具協会 集計による)



お客様の満足度向上へ、アンケートにご協力ください。

バンザイでは昨年に引き続き、アンケート調査をお願いしております。

お客様への満足度向上に、皆様の声をお寄せくださるようお願い申し上げます。

編集後記



新年あけましておめでとうございます。今年(2013年)は私たちの業界での大きな展示会のひとつ、「第33回オートサービスショー」が7/3~5に東京有明・ビックサイトで開催される年です。皆様のお

役に立てる新商品の数々をご紹介できることと思います。編集委員としてよりよい新商品や様々な情報を「BANZAI NEWS」でお届け出来るように頑張ります。

<福田>